

積極的に活動展開

大林道路北信越支店

大林道路北信越支店（飯塚角男支店長）は、新潟市の新潟東映ホテルで2017年度安全大会を開き、協力会社の代表ら約100人と労働災害の撲滅を誓い合った写真。

冒頭、飯塚支店長は「現場の整理整頓、事故、けがの防止が建設業の健全な発展への第一歩」との認識を示し、「当社の社員と協力業者双方が安全への意識をより一

層高めなければならない」と強調した。
また、同支店の16年度の災害発生状況を踏まえ、▽声掛けによる



不安全状態の撲滅▽バックホウとの接触事故の防止▽安全に対するトップのリーダーシップを重点施策に設定したと説明。その上で、「安全は受け身では確立できない。積極的に安全衛生管理活動に取り組んでほしい」と呼び掛けた。

同支店安全衛生協力会の田中敏夫会長、大林道路本店中央安全衛生委員会の石川洋副委員長のあいさつに続き、表彰式が行われた。大林道路関東支店の千葉真一安全・品質環境部長の訓話の後、北信越支店新潟営業所の小林隆工事長が安全の誓いを宣言し、参加者一同で労災ゼロへの決意を新たにした。
(6・21)

